



地区ガバナー就任の ご挨拶

ガバナー 中川章三

『未来を築こう』

クラブ会長及び幹事の皆さん、いよいよ1996～97年の新しい年度がやって参りました。それぞれ各クラブをどのように運営しているのかと、苦心しておられることと思います。私自身もこの1年間、大役をお引き受けし、緊張に身の引き締まる思いを致しております。昨年7月にガバナー・ノミネーとしての指名を受けましてから、あらゆる委員会及び各種会合に出席させていただきました。地区の組織について、又地区のやり方についても私なりに勉強致しました。そしてこの2月18日より1週間、米国アナハムの国際協議会に34名のノミネーと共に研修を受け、本年度のガバナーとしての責務と覚悟を決めて帰って参りました。又、次年度地区委員長会議および次年度会長研修セミナー、地区協議会も無事にすませることが出来ました。これも偏に地区代表幹事並びに幹事の皆さんのご尽力の賜物と深く感謝する次第でございます。

さて、1996～97年度のRIのテーマは『築け未来をー行動力と先見の眼』であります。21世紀まで、後僅か数年になりました。我々ロータリアンはこの21世紀という未来に向けて「奉仕の理想」を高々と掲げましょう。然し乍ら21世紀という未来は我々ロータリアンにとってどうなるのでしょうか。現在

世界中には数多くの紛争、飢え、貧困が有り又病める人、迫害を受けている人が沢山います。今日の世界は、人類の望む総計で構成されている訳ではありません。私たちの望むバランス、平等、喜びが欠けていると思います。奉仕する者は行動しなければならぬと言われております。行動こそ未来を築く唯一の方法であります。将来へのニーズをよく見極めて奉仕に精をだしましょう。唯単に闇雲に奉仕をすれば良いというのであれば、ジアイ会長が言われる『先見の眼』のない奉仕になってしまいます。さて今年度の地区目標は次の通りであります。

- (1) ロータリー情報の推進
- (2) 会員の増強

(1) ロータリー情報の推進

手続要覧には、「ロータリーとは」という101の文字からなる最も簡単な定義があります。即ち、我々ロータリアンは人道的な奉仕を行い、職業に於ては高度の道徳的水準を守り、世界の親善と平和の確立に寄与するというのが原点であります。そしてその綱領として有益な事業の基礎として、『奉仕の理想』を鼓吹し、これを育成するというのが骨子であり、その為に4つの項目があります。

ポール・ハリスが1905年にロータリーを創始してから91年経ちました。そのポール・ハリスは世界は変わって行くのだから、ロータリーもそれと共に変わらねばなりませんと言っていますが、ロータリーの原点は変わるものではないと考えます。

新しい会員の方々は、入会の前後に「ロータリーとは」「奉仕とは」と詳しくオリエンテーションを受けられたことと思います。しかし古い会員の方々も含め、お忘れになっておられる方がいないでしょうか、どうか各クラブの会長のみならず、会員の皆様方にはロータリー情報集【ご存知ですか?】や【手続要覧・ロータリアンの手引】を熟読玩味して下さるようにお願いします。ロータリー情報の推進はクラブレベルで行なうべきですが、地区としても研修会を行い情報を提供していく計画を立てています。

(2) 会員の増強

昨年度は熊澤前ガバナーの非常なご努力により地区の会員数は飛躍的に増加しました。会員を増強するという事は、本年度に於いてもジアイRI会長の強い要望でもあります。会員を増強することによって、ロータリーの活性化、強化が出来、さらにプロジェクトを拡大することができるという利点があります。会員の増強はロータリーにとって永遠の課題であり、ロータリアンの責務でもあります。

以上2つの大きな地区目標に向かってのご協力をお願い致します。

我々ロータリアンは明日の希望に満ちた未来へ、ロータリーの原点を心に留めて、しっかりと現状を見据え、『先見の眼』でもって『奉仕の理想』に邁進いたしましょう。